

大泉学園複合施設(ねりま健育会病院) 大田 花鈴

功 績 患者さんの整容に対するプロジェクトリーダーとしてビューティーチームを立ち上げ、少しでも身なりを整えさせて頂く事で、心が晴れる、凜とする、生活意欲が湧く、リハビリテーションに対するモチベーションが上がる、認知機能に対するケアの一貫等、多様な効果を導いた功績。

更なるチームの活性化を考え、自主的にメイクセラピーの認定を獲得し、今後はビューティーに関するイベント開催を考えている。

推 薦 者 佐藤 裕太

推 薦 理 由 病気、障害により入院されている患者さんに対し、少しでも身なりを整えさせて頂く事に貢献したいという気持ちだけでなく、整容に対するプロジェクトリーダーとしてメンバーを集め、ビューティーチームを立ち上げた事。活動が定着し、患者さん、ご家族から好意的なお声が聞かれるようになり、心が晴れ凜とする、リハビリテーション、生活意欲が湧く、認知症ケアの一貫としての実績。この2点に満足するのではなく、患者さんに対する貢献を考え、自身のスキル、スペックを高める為に、自主的にメイクセラピーの認定を獲得し、整容の質を高めていく姿勢は、自身の研究心と当院理念であるホスピタリティの原点でもあると考える。

内 容

看護チームでは患者さんの心が豊かになる重要アプローチの一つとして整容に着目し取り組んでいます。身なりが整い、「綺麗になりましたね」、「素敵になりましたね」といった声に恥ずかしながらも喜ばれ、素敵な笑顔の時間を体感し、私達は日常的な整容に対するケアの質を高めていきたいと考えました。

女性の患者さんから、身なりを整えている患者さんを見て「綺麗にされてていいわね」、「私も入院する前は毎日化粧をしていたのよ」といった声、入院後も化粧をしたいと多数の希望を確認しました。病気や障害により入院されている患者さんに対し、少しでも身なりを整えさせて頂く事で、心が晴れ凜とし、リハビリや生活意欲が湧く、認知機能に対するケアの一貫等、多様な効果やホスピタリティを期待し、前年度、整容に対するプロジェクトリーダーとして大田はメンバーを集め、ビューティーチームを立ち上げました。空間を大切にす為メイクボックスからメイク用品を一つ一つ選定し、ルール、システム化を図り実践していきました。チーム立ち上げ後、入院時、不穏強く、常に表情が険しく、大声を上げ難渋する患者さんを出迎えました。安全で安心な環境を整える事、心地良い空間を作る事を重点に介入し、少しずつ穏やかな時間を構築する事ができました。その中でも私達看護チームが一喜一憂していく中で特に驚き、歓喜した光景が一つありました。チームとして、化粧をし身なりを整え、素敵な姿を患者さんと鏡、写真で確認した際にとても優しく、柔らかい笑顔をされました。

写真でおさめられた光景は穏やかな空間であり、患者さん本来の笑顔を共有でき、一期一会の貴重な空間となりました。

患者さん、ご家族から好意的な声が聞かれるようになり、更なるチームの活性化を考え、自主的に調べメイクセラピーの認定を獲得しました。メイクセラピー認定者として少しでも何か力になれる事があればといった謙虚な姿勢を持ち、病院、患者、家族貢献を意識しており、当院理念のホスピタリティ姿勢であると考えます。今後イベント開催をし、ねりま健育会病院として新たなビューティープロジェクトを考えています。